

産業廃棄物処理計画書

2021年 6月 15日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県松阪市高須町3922番地

氏名 公益財団法人三重県下水道公社
理事長 稲垣 司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0598-53-4871

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)志登茂川浄化センター
事業場の所在地	津市白塚町1592番地
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	F36 電気・ガス・熱供給・水道業/ 水道業
② 事業の規模	処理水量 1,497,826m ³
③ 従業員数	19名(公社:7名、委託業者:12名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>・汚泥(脱水ケーキ) 流入下水 → (生物処理) → 汚泥 → (引抜き) → 余剰汚泥 → (濃縮) → 濃縮汚泥 → (汚泥脱水機) → 脱水ケーキ → (ケーキホッパー) → 貯留 → (廃棄物運搬車) → 場外搬出 → (セメント工場:焼却) → 焼却灰 → セメント</p> <p>・し渣 流入下水 → (自動除塵機) → し渣 → (し渣脱水機) → (し渣ホッパー) → 貯留 → (廃棄物運搬車) → 場外搬出 → (最終処分場:焼却) → 焼却灰 → 埋立</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

・汚泥
本部総務課で当浄化センターを含む6施設(流域下水道の浄化センター)の汚泥収集運搬及び汚泥処分業者の選定、契約を一括して実施している。
当浄化センター(公社)が汚泥の引抜量、脱水操作、搬出時期等について運転委託業者に指示している。
また、当浄化センター(公社)が汚泥処分について汚泥収集運搬及び処分業者(セメント会社)へマニフェストの発行及び日程調整を行っている。

・し渣
し渣の収集運搬及び処分についての契約業務は当浄化センター(公社)で行っている。
汚泥同様マニフェストの発行及び搬出日程調整について当浄化センター(公社)が行っている。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
①現状	排出量	
	(これまでに実施した取組) 脱水機の適正な運転(汚泥供給量、脱水速度等)及び添加する高分子凝集剤の選定等脱水状態を把握し、脱水能力の向上による脱水ケーキの減量化に努めている。	
	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
②計画	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 汚泥脱水機の運転能力の向上及び安定化を図り、汚泥の含水率の低下による脱水ケーキの発生量の削減に努める。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・脱水ケーキ及びし渣(汚泥)は、所有するそれぞれのホッパーに貯留している。 ・廃プラスチック類、ガラスくず、金属くず等については、それぞれ分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別方法を維持することで適正に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) なし	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 初期運転中のため最初沈殿池からの汚泥(生汚泥)の引き抜きは行っていない。最終沈殿池からの汚泥(余剰汚泥)の引き抜きを行っており、これを脱水機により脱水ケーキにすることで場外搬出する汚泥の減量化を図っている。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 生物処理機能を最大限活用した運転により凝集剤(PAC:ポリ塩化アルミニウム)の添加量の削減に努める。 汚泥脱水機の適正な運転により汚泥の含水率を85%以下にする。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
なし		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)	
脱水ケーキを全量セメント原料として処分委託した。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(今後実施する予定の取組)		
昨年度に引き続き脱水ケーキを全量セメント原料として処分委託する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います
 }
 } 記入不要です

項目		廃棄物の種類		現状/計画																			合計量 (t)	
				ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物		ト 13号廃棄物
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績		8723																			8723	
		今年度目標		11904																				11904
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																					0	
		今年度目標																						0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績		7999																				7999
		今年度目標		10895																				10895
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績		724																			724	
		今年度目標		1009																				1009
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績		1																				1
		今年度目標		1																				1
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績		723																				723
		今年度目標		1008																				1008
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績		1																				1
		今年度目標		1																				1
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0	
	今年度目標																						0	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。